

福岡医発第1261号(地)

平成30年7月27日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松田 峻一良
(公 印 省 略)

A型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について

今般、厚生労働省より、日本医師会及び福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課を通じて、周知依頼がありましたのでお知らせいたします。

本件は、本年のA型肝炎患者の報告数が例年より増加しており、A型肝炎の感染経路として、食事等による経口感染の他、性的接触によるものが多いと推定されていることから、A型肝炎の感染拡大を防止するため、A型肝炎の感染者等に対する診療等について必要な対応を依頼するものです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、今回の患者報告数増加の傾向を踏まえ、A型肝炎患者が必要な医療等を受けることが困難にならないようご留意いただきますとともに、貴会会員へ周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 田中泰之
会長 島田昇二郎

(健Ⅱ86F)

平成30年7月24日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

釜 菔 敏

A型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について

今般、標記の件について、厚生労働省より本会に対して別添の協力方依頼がありました。

本件は、A型肝炎患者の報告数が例年より増加しており、A型肝炎の感染経路として、食事等による経口感染の他、性的接触によるものが多いと推定されていることから、A型肝炎の感染拡大を防止するため、A型肝炎の感染者等に対する診療等について必要な対応を依頼するものであります。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご丁知のうえ、今回の患者報告数増加の傾向を踏まえ、A型肝炎患者が必要な医療等を受けることが困難にならないようご留意いただきますとともに、貴会管下郡市区医師会、関係医療機関等に対する周知方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

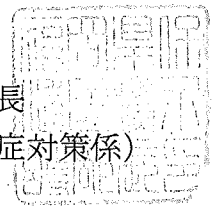
30 疾病第 1499 号

平成 30 年 7 月 20 日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県病院協会
一般社団法人福岡県私設病院協会
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長
一般社団法人福岡県精神科病院協会

殿

福岡県保健医療介護部長
(がん感染症疾病対策課感染症対策係)



A型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

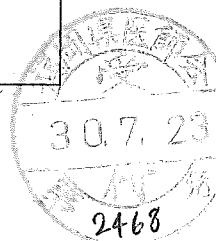
さて、標記について、厚生労働省健康局結核感染症課から別添のとおり通知がありましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴会会員に対し周知していただきますようお願いいたします

—問い合わせ先—

福岡県保健医療介護部
がん感染症疾病対策課 感染症対策係 諫山
〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7
TEL(092)643-3268 FAX(092)643-3331

各医師会通知



公益社団法人日本医師会
感染症危機管理対策室長 釜 菴 敏 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



A型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について（協力依頼）

今般、A型肝炎患者の報告数が例年より増加している（※）ことを踏まえ、A型肝炎の感染拡大を防ぐため、貴会会員に対し、下記について周知いただきますようお願いいたします。

（※）A型肝炎患者数の状況

- ・ 感染症発生動向調査において、2018 年第 1 週～第 24 週における A 型肝炎患者の報告数は、417 件となっている（例年、約 100～300 件／年）。
- ・ 都市部を中心に、国内の複数の地域において報告がみられる。

記

1 A型肝炎の発生状況について

- A型肝炎患者の報告数が、例年に比して増加していること。
- A型肝炎の感染経路として、食事等による経口感染の他に、性的接触があること。
- 2018 年第 1 週～第 24 週の報告例において推定される感染経路として、性的接触が多いこと。

2 感染者等に対する診療等について

- A型肝炎は、感染症法に規定される 4 類感染症であり、診断した場合には直ちに最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出なければならないこと。
- 感染経路として性的接触が疑われる場合には、HIV 感染症等、性的接触により感染する他の疾患についても留意が必要であること。
- A型肝炎は、症状消失後約 1～2 ヶ月の間、ウイルスの排出が続くことから、他者への感染を防ぐため、感染経路等の情報を踏まえ、症状消失後の日常生活においても手洗い等の衛生管理が重要であることについて指導すること。
- 感染者の同居者やパートナー等、特に A型肝炎ウイルスへの曝露リスクが高い者への対応として、予防接種の意義や、予防接種に対応可能な医療機関等に関する情報提供について検討すること。

別紙：「2012 年第 1 週から 2018 年第 24 週までの感染症発生動向調査における A 型肝炎の報告状況」（国立感染症研究所）

参考：A 型肝炎（国立感染症研究所 IASR Vol.36 p.1-2: 2015 年 1 月号）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/hepatitis-a-m/hepatitis-a-iasrtpc/5333-tpc419-j.html>

予防接種実施機関の探し方（FORTH）

<https://www.forth.go.jp/useful/vaccination02.html>

予防接種機関データベース（FORTH）

<https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html>

(別紙)

2012 年第 1 週から 2018 年第 24 週までの感染症発生動向調査における A 型肝炎の報告状況

国立感染症研究所 感染症疫学センター

2018 年 6 月 22 日現在

感染症発生動向調査において、2018 年第 2 週以降の A 型肝炎の増加傾向が観察されていることから、発生動向のまとめについて、第 24 週（6 月 11 日～6 月 17 日）までに更新された情報における概要を記述する。

【概要】

1. 2012 年第 1 週から 2018 年第 24 週までの発生動向

2012 年から 2018 年までの感染症発生動向調査における A 型肝炎の報告数は、全国的な流行が見られた 2014 年(433 例)を除き、年間約 100～300 例で推移した。

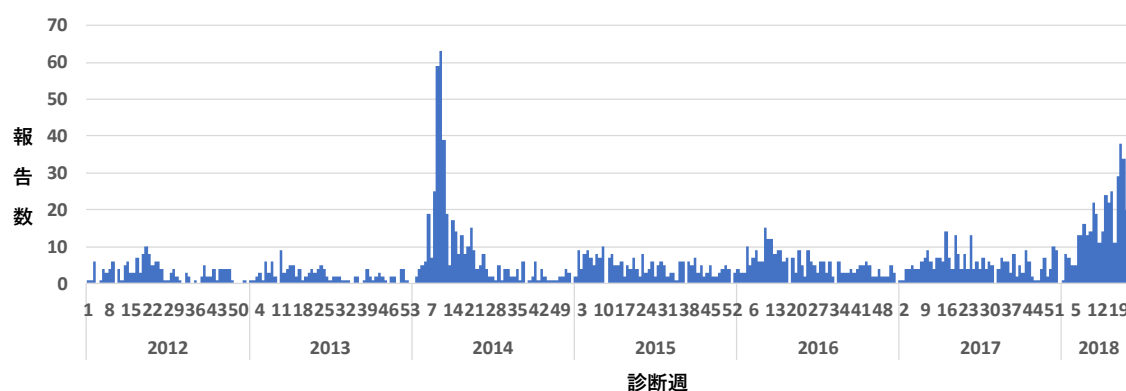


図 1. 感染症発生動向調査における A 型肝炎の報告数

(診断週 2012 年第 1 週～2018 年第 24 週, $n = 1,935$)

2018 年は第 24 週時点で 417 例が報告され、第 2 週以降ベースライン*を超え、第 6 週以降は閾値(+2SD[標準偏差])を超えて推移している。なお、都市部を中心に、国内の複数地域より患者の報告がみられる。

* ベースライン: 2014 年を除く 2012～2017 年の同一診断週及びその前後 2 週の移動平均

2. 2015 年第 1 週～2018 年第 24 週の性・年齢分布

2018 年第 1 週から第 24 週まで(以下、2018 年)に診断された 417 例は年齢中央値が 37 歳 [範囲:2-85 歳,四分位範囲:29-46 歳]で、2015～2017 年(以下、過去)の報告(年齢中央値 44 歳 [範囲:0-99 歳,四分位範囲:31-59 歳])と比較し低下していた。2018 年の男女別年齢中央値は男性が 37 歳、女性が 42 歳であった。性別は 2018 年の男性の割合(92%)が過去の報告(61%)と比較して高かった。

3. 2015 年第 1 週～2018 年第 24 週の感染源・感染経路

推定される感染経路は 2018 年の報告(417 例)では、経口感染の割合(38%)が過去の報告(74%)と比較して低く、性的接触(53%)が過去の報告(4%)と比較して高い割合であった。特に、男性における性的接触の割合が(58%)で、過去の報告(5%)と比較して高く、女性における性的接触の割合(3%)は、過去(1%)と比較して大きな変化はなかった。

4. 2015 年第 1 週～2018 年第 24 週の症状

報告された症状は肝機能異常(2018 年 90%、過去 88%)が最も多く、次いで全身倦怠感(2018 年 84%、過去 83%)、黄疸(2018 年 71%、過去 68%)の順に高い割合であった。「肝性脳症および/または意識障害」を呈した症例は 2018 年が 2 例(0.5%)で、過去は 2 例(0.3%)であった。